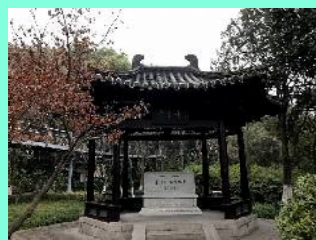


【姉妹都市の中国・常州市を友好訪問しました】

本年1月20日から23日にかけて、所沢市議会友好訪問団（議員3名・職員1名）の一員として、所沢市の姉妹都市である中華人民共和国・常州市（江蘇省）と上海市を訪問しました。常州市は、上海の西160km、南京との間に位置し、総面積約4,375km²（東京都の約2倍）、人口約472万人という大都市です。上海からは高速鉄道（新幹線）を利用すると、1時間程度で到着します。なお、所沢市とは1992年4月20日に姉妹都市締結をしています。



今回のメイン行事は、常州市人民代表大会表敬訪問でした（常州市の庁舎は右上の写真のとおり、ツインタワーの立派な建物）。歓迎の昼食会後、昨年9月に開通したばかりの地下鉄をはじめ、市内各地を視察しました。紅梅公園にある「常澤亭」と呼ばれる東屋には両市の姉妹都市締結を記念した石碑が設置されています（写真左下）。



中国は1998年に北京や内モンゴルなどを訪れて以来、20数年ぶりの訪問でしたが、想像をはるかに超える発展ぶりや成長のスピードには本当に驚かされました。上海の超高層ビル群、まるでテーマパークのような陽澄湖サービスエリア、先進的なテクノロジー…等々、枚挙に暇がありません。改めて振り返ると、春節に新型コロナウイルス騒ぎも重なり、なかなか大変な時期の渡航でした。そんな状況下でも多くのことを学ばせていただきました。

【新型コロナウイルス感染症の相談窓口】

埼玉県新型コロナウイルス 県民サポートセンターでは、一般的な相談のほか、感染が疑われる場合には専門外来につながり帰国者・接触者相談センターを紹介するなど、新型コロナウイルス感染症に関する相談に一元的に対応しています（ただし、学校の臨時休業等に伴う相談は除きます）。

電話番号：0570-783-770

受付時間：24時間（土日・祝日も実施）

※感染が疑われる場合は、

帰国者・接触者相談センター（狭山保健所）へ

☎04-2954-6212

所沢市議会
6月定例会の予定

6月5日（金）～
6月29日（月）

※正式な会期日程は、
5月29日（金）に
決定いたします。

【プロフィール】

- 1970（昭和45）年2月3日、所沢市生まれ。
- 1993年、早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。
- 社会保険労務士・ファイナンシャルプランナー（CFP認定者）・防災士。
- 2019年4月、所沢市議会議員選挙にて当選（連続4期）。
市議会議長（第64代）、市議会副議長、市民環境常任委員会委員長などを歴任。
現在、所沢市監査委員（議員選出）、建設環境常任委員会委員、予算常任委員会委員。
- 所沢明生病院地域評議員・日本防災士会地方議員連絡会会員。



ご意見・お問合わせ等 090-8115-3715 [Homepage] www.oginoyasuo.com
[E-mail] tokorozawa@oginoyasuo.com

●編集・発行／荻野泰男事務所 〒359-1166 所沢市糞谷1746-1

所沢市議会議員【無所属】

おぎ の やす お
荻野 泰男

市政レポート Vol.76

（納得できる所沢市政を！！） May, 2020

Ogino Yasuo Tokorozawa Shisei Report



新型コロナウイルスにより一般質問も中止

令和2年所沢市議会第1回定例会は2月19日から3月27日まで開催され、市長から提出された令和2年度所沢市一般会計予算をはじめとする当初予算案を中心に審査が行われました（全て原案通り可決）。

一般会計予算の総額は1064億円（前年度比2.8%減）となりました。歳入のうち市税が約523億円（同0.1%増）で、全体の約49%を占めています。一方、歳出については社会保障等の福祉関係費を中心とする民生費が約498億円（同2.9%増）となり、全体の約47%を占めています。土木費は約107億円（同5.8%減）、教育費は約112億円（同15.9%増）となっています。また、「所沢市客引き行為等の禁止に関する条例」が新たに制定されました。最終日には、副市長に中村俊明氏が選任され、教育委員会教育長に大岩幹夫氏が任命されました。なお、新型コロナウイルス対策に協力するため、全議員が一般質問を取り止めました。

【令和2年度に実施予定の主な事業等の概要について】

1. 地域公共交通検討事業
（事業費総額 3280万1千円）

●市内各地域の交通弱者等に対する円滑な交通手段の確保および利便性を向上させるための対策について、所沢市地域公共交通会議等により、地域公共交通の方向性や具体的な施策の検討が重ねられているところです。また、令和元年度には三ヶ島地区における地域住民との意見交換会が実施されました。

●令和2年度は、交通不便地域におけるコミュニティバス（ところバス）の抜本的見直しや、新たな交通手段（ワゴン型バスの運行）の実証運行開始に向けた準備を行う予定になっています。

●今年度の予算には、4台分の自動車購入費（2720万円）やバス停設置委託料（470万円）等が盛り込まれています。



2. 市制施行70周年記念事業 (事業費総額 1614万3千円)

●本市は昭和25年11月3日に市制を施行し、**本年11月に市制施行70周年**を迎えます。この節目を市民とともに祝い、さらなる発展を願って記念事業を実施します。

●具体的には、記念式典の開催、記念冊子の作成、絵本の制作、本市の特徴や文化を活かし、アピールできる記念事業（「となりのトトロ」を所沢駅の駅メロに採用など）の実施等が予定されています。

●所沢駅における発車メロディの導入については私もかつて一般質問で2回取り上げた経緯がありますが、**忘れた頃に実現しそうです。**

3. トコトコ健幸マイレージ事業 (事業費総額 1690万8千円)

●「トコロん健幸マイレージ事業」のコンセプトを継承し、参加者の拡大と事業費抑制の両立を図るため、県の事業に参入するものです。

●参加者（18歳以上の市内在住者）は本年7月以降随時の申込みが可能で**歩数の計測はスマートフォンアプリか専用の歩数計から選択**でき、初年度は計4,000人の参加を見込んでいます。

●なお、これまでの事業と同様**ポイントに応じて抽選で景品を獲得**することができます。



4. 所沢カルチャーパーク[®] 築造事業 (事業費総額 約1億2千万円)

●所沢カルチャーパーク（下新井）は、**自然環境保全型の総合公園**として、令和3年度までの完成を目指し、整備が進められています。

●本年7月オープン予定の**ところざわサクラタウン**から東川散策や航空記念公園などへの回遊性は所沢の魅力の重要な要素となります。

●この公園を早期に完成させ、受け入れ態勢を整えるため、今年度は**管理棟や子どもたちの遊び場となる築山（つきやま）などの整備を行う予定**となっています。



5. 所沢市客引き行為等の禁止に関する条例の制定

●禁止地区内における**客引き行為等を禁止**することで、市民等が安心して通行することができる快適な環境を確保するとともに健全な事業活動の発展に寄与することを目的として条例を定めるものです。

●現在、**禁止地区として想定されているのは、プロペ通りとその周辺**であり、条例事項を遵守させるため、指導、勧告、命令及び公表並びに**罰則として過料5万円**が規定されています。

●**客引きパトロール**等に係る関連予算が計上されています。



予算常任委員会の 会議録から

一般質問は中止となりましたが、**当初予算については予算常任委員会（3月16日～19日）にて審査**が行われました。荻野泰男も12名の委員の1人として参加いたしましたので、私の質疑応答の一部を抜粋して紹介させていただきます。なお、**全ての委員会会議録は右のQRコードからアクセス可能**です。



保育所の新設について

Q. 保育所（令和3年度開所予定）の新設に係る補助金が計上されているが、この予算と市長の選挙公約にあった所沢駅への保育所の設置との関係性はあるのか？



A. 今回の予算については所沢駅周辺のタワーマンションの開発等に伴う保育需要に対応する施設整備として計画を進めているものである。駅の中についても開発事業者等から相談は来ている。

集団資源回収の現状について

Q. 集団資源回収を実施している自治会等において最近では有償でない事業者が古紙を引き取らない事例もあるようだが、その背景はどうなっているのか、市として何か対策は考えているのか？



A. 中国の輸入制限の影響で古紙の取引相場が急激に落ち込んでおり、登録業者から逆有償を求められているという話も聞いている。市としては実施団体のマイナスにならないよう努めるとともに業者への支援も早急に検討したい。

防災行政無線の増設について

Q. 防災行政無線を5基分増設する予算が久しぶりに計上されたが、今後の整備方針についてはどのように考えているのか？



A. 防災行政無線の最終的な目標基数についての計画は特にないが、市民の公平感も考えると、聞こえない地域には整備をしていかなければならないと考えている。

令和2年度の所沢市の予算（一般会計・上下水道事業会計）の中から三ヶ島地区に関する事業や取り組みについて、主なものをピックアップして紹介させていただきます。

令和2年度の 三ヶ島地区の 動きは？

【林・糞谷地区内新設道路の2・3工区の整備予定は？】

入間市との共同事業により実施している上藤沢・林・宮寺間新設道路築造事業については、第1工区（国道463号バイパス～浅間山通り）約740m（うち、所沢市分約460m）が平成30年度に供用開始されています。第2工区については、**三ヶ島工業団地周辺地区土地区画整理事業の中で整備が進められること**になっています。

第3工区（林運動場付近～入間市宮寺の南矢荻バス停付近）のうち所沢市分約368mについては、令和2年度は関連予算として**測量委託料（480万円）と設計委託料（740万円）**が計上されました。今後の実施スケジュールは、令和3～5年度に用地取得、令和6～7年度に整備工事が行われる予定になっています。

【三ヶ島工業団地周辺地区における産業団地の創出に向けて】

三ヶ島工業団地周辺地区（林1丁目地内）における産業団地の創出については、所沢市としても優先的に取り組んでおり、地権者組織である土地区画整理組合の設立に向け、準備会による調整が進められているところです。なお、本年度は上記道路の用地取得等に係る予算（約1億5千万円）のほか、基本設計・開発設計準備等（約1億円）、環境影響評価（1億1100万円）、埋蔵文化財調査（約1170万円）などに係る関連予算が計上されています。

【今年度から第4期市街化調整区域下水道整備がスタート】

その他、三ヶ島地区関連の主な事業としては、**老人憩の家みかじま荘の下水道設備整備工事、三ヶ島地区体育館床改修、林1丁目地内の下水管布設、三ヶ島3丁目・東狭山ヶ丘6丁目・西狭山ヶ丘2丁目地内等の配水管更新、狭山ヶ丘2丁目・林1丁目・三ヶ島1丁目地内の市道の舗装、三ヶ島第3区・第4区自治会に対するコミュニティ活動推進事業補助金、三ヶ島小の公共下水道接続事業、林小の給水管改修、宮前小の体育館屋根改修、西部クリーンセンターの駐車場用地返還事業**に係る予算などが計上されました。